

## 研究全体への主なコメント

No.	所属先	内容
1	特別支援学校	「深い学び」を繰り返しの学習の上にはか成り立たない気がしていたので、「視点」が参考になった。
2	特別支援学校	1年目と2年目と小規模な実勢やベースラインの確認を丁寧しながら、3年目の実践につなげていくことは無理なく本校でも取り入れることができると思いました。「主体的・対話的で深い学び」の中で「深い学び」をメインに取り上げたのが気になりました。
<p><b>研究部から</b>                      主体的な学びにしても、対話的な学びにしても、それを通じて深い学びが行われ、資質・能力の育成につなげることが「主体的・対話的で深い学び」の意義なのだと考えています。深い学びが生じる際には、「主体的」で「対話的」な学びは必然的に行われているであろうと考えているということです。そうした考えの上で、学校研究を行うにあたっては、テーマの焦点を絞ることで取り組み易くなるかと思い、「深い学び」をメインに取り上げました。</p>		
3	特別支援学校	私自身、教職大学院で合わせた指導のあり方を研究しているので、合わせた指導の位置づけを改めて考えることができよかったです。学校によっては、合わせた指導ではなく教科指導を教育課程の中心にしているところもありますが、やはり合わせた指導には知的障害教育で大切にしてきたことがつまっていることを再確認することができました。
4	特別支援学校	私の勤務校も千葉大と同規模で、合わせた指導を教育課程の中心にしています。教科指導の重要性が言われている今の時代、多くの付属校で教科指導に切り替えています。それでも合わせた指導の大切さは私も同感です。
5	特別支援学校	合わせた指導での深い学びが明確に示され、目指す姿がわかりやすい研究でした。また千葉大附属版「深い学びの姿」表は共通理解に有効なツールだと考えます。
6	特別支援学校	教科指導でつまずいて、自信をなくしそうな児童生徒に、教科中心の教育を進めて良いものかと思っていました。そのような疑問を抱く中、貴校が「合わせた指導で、深い学びを促し、資質・能力を育む指導の実践的研究を進めていることには、とても意義深く感じていました。今回の研究で、貴校が活動を通じた学びの重視、どのような深い学びの姿が見られたか、事例のエピソードでの提示を具体的な教育実践を通じて見せて頂いて、とても気持ちが楽になり、元気が湧いてきました。
7	特別支援学校	合わせた指導の中で深い学びを引き出す授業づくりについて、子供たちの姿から学びの見取りや、教師の支援の視点、授業展開と着実に授業を組み立てていった研究発表に、大変感動しました。本校でも、貴校の研究を参考にして、授業づくりを行っていきたいと思います。
8	教育関係機関	各教科合わせた指導についての深い学びについてよく分かりました。その中に教科の内容があるかと思うのですが、その教科の見方・考え方の深い学びをどのように考えるか知りたいと思いました。
<p><b>研究部から</b>                      授業に含まれる教科等を明らかにすることよりも、合わせた指導の意義を明らかにすること優先して研究を行いましたので、ご指摘のように「深い学びはある。その中に教科の内容があり、見方・考え方を働かせているであろう」と考えているのが現状です。授業の中でどのような教科等を扱うかが明確になっていくに伴って、合わせた指導の中でどのような見方・考え方を働かせているかが明らかになっていくものと考えています。</p>		
9	就学前施設	担当している子どもたちが就学後どのように過ごせるのか、支援学校の様子を見ることができ、就学支援をするにあたりとても参考になりました。
10	特別支援学校	新学習指導要領改訂に伴い、ともすると教科重視の波が教育現場では感じられる昨今において改めて合わせた指導の存在意義を考えさせられる内容でした。
11	特別支援学校	深い学びについて、丁寧に定義を考えられ、実践により検証されているのでとても参考になりました。何ができるようになったかについて、教科の視点でも整理していくことをさらに考えたいと思いました。
12	特別支援学校	深い学びを支える授業作りの視点について、例がイラストで示されていてとても分かりやすかった。

- 13 教育関係機関 研究が段階的に設定されていて、計画性があり、各段階の意図も明確だと思いました。経過の中で、教員の異動により、継続性を保つことに難しさはないのでしょうか。

#### 研究部から

研究の継続性の担保は本校においても課題であると考えており、次の2点がその対応にあたると思います。

- ・年度初めに「合わせた指導」「深い学び」「本校の研究の経過」について研修を行っています。スライドを用いた講話やグループワークが主な内容です。講話は校長、研究主任が行っています。
- ・研究計画は2年計画を基本としています。今回はコロナ禍における対応として、計画を3年に延長しました。

- 14 その他 知的障害のある児童生徒の主体的な取り組み（自身の深化・自身らしさに結びつくはず）への真摯なご活動、ご研究をご期待します。ともするとこの分野の「学校研究」（学校として取り組む研究）は、教師が目指したい（形を付けたい）モデル追求になりがちかなと思います。この障害のある子たちの主体性の実現は本当に容易ではないので、時間つぶし・子守り（かなり昔、教科教育系の先生から障がいの重い子たちの教育はこう悪口を言われました）と陰口を叩かれないような、子どもたちの本当に成長する姿の追究をよろしくお願いいたします。それがこの子どもたちを分離してまで特別支援学校が存続する根拠となると思います。
- 15 教育関係機関 学習指導要領において主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善が求められ、特別支援学校においても各校で試行錯誤しながら取り組んでいるところだと思います。本県においても「教科」の学習についての理解は進んできたものの、「合わせた指導」についてはなかなか難しく感じていましたので、「学びの姿」などを明確にすることなど、とても参考になりました。
- 16 小学校 学年、学部に応じてそれぞれの視点で教師が気付けるように意識して行うことは、特別支援教育だけではなく、全ての教育で大事なことだと改めて感じさせられました
- 17 特別支援学校 今回は動画配信でしたが、申し込みから配信までとても分かりやすくスムーズでありがたかったです。内面に注目するというのが、本校の研究ともリンクして学びの多い研究会でした。
- 18 中学校 活動を通じて、深い学びができるよう、目の前にいる生徒としっかりと向き合っていきたいと思いました。日々、ねらい通りにいかないと感じているのですが、ねらい通りの深い学びが生み出されるとは限らないし、そう捉えることが重要だと学ぶことができたので、思うように行かなくても、その課程や生徒の姿を大切にしていきたいと思いました。
- 19 小学校 深い学びの10の姿と、授業の関係性（例えば、予測する姿を達成するには、こんな授業、こんな活動が有効だった等）について、具体例や相関図のようなものがあれば教えていただきたいです。

#### 研究部から

予測する姿を引き出すためにこんな授業を行うと良い、という傾向のようなものは確かにあるかもしれませんが、本研究においては明らかにしていません。授業の方法と目指す子どもの姿を紐づけて指導方法を検討していく過程においては、「子どもの主体的で教師にとっては予想外なこともあり得る学び」を見ることは難しく、また「子どもが本当に考えて行ったことよりも、定義された行動を行ったか否か」を追求することに帰結していくという懸念がありました。深い学びの本質は「子どもが自ら考え学ぶこと」ですが、具体的に方法を検討することでかえって深い学びの本質から離れるかもしれないと考えた、ということです。そのため本研究では、深い学びを促すための具体的指導方法でなく、授業の「視点」を考えました。

- 20 教育関係機関 教科等を合わせた指導とはそもそものようなものなのか。学習指導要領が変わり、私が悩んでいた。これを丁寧に検証・整理するところから始めている研究が、とても参考になった。とくに、「子どもにとって」「教師にとって」でまとめた、合わせた指導の捉え方は、端的で伝わりやすいと思った。
- 21 特別支援学校 深い学びについて、具体的に捉えることができるようになりました。教科指導が強く叫ばれる昨今、合わせた指導の重要性を感じています。今回の取組に、教科の見方・考え方や各教科での評価を関連付けて説明すれば、全国の各学校が更に参考にしやすく、目つ堂々と合わせた指導を実施できるようになると思いました。
- 22 中学校 エピソード記録をつけることで、生徒の深い学びにつながっていることがよく伝わってきました。日々、先生方が生徒の細かい様子を記録することで、評価をしやすくなり、目標を再設定しやすいのではないかと感じました。生徒の深い思考につながる先生方の一言の声かけは、エピソード記録を通して生徒の様子をよく理解しているからであると感じられました。
- 23 特別支援学校 知的障害教育部門における深い学びに焦点を当てた研究、大変参考になりました。全体として、取り上げている「深い学び」は「主体的・対話的で深い学び」という大きな枠で捉えた方が無理なく解釈できたのかもしれないと感じました。

- 
- 24 特別支 視点に沿った授業づくりがなされていて、大変参考になりました。どのような事後研を行っているのか（今  
援学校 回の協議会のような形なのか）についても知りたいです。

#### 研究部から

ご質問のお答えになりますか分かりませんが、本校では、2月の公開研究会において今回の協議会のような形で話合いの機会をもっています。他には、秋ごろに学部ごとに授業研究会を行い、講師、共同研究者を招聘し、本校職員、参観者によるグループ協議を行っています。また、ミニ授業研と称し、本校職員のみでグループ協議を行っています。

- 
- 25 特別支 現在の知的特別支援学校において、おそらく全国の多くの学校が悩んでいるであろう課題に対して、貴  
援学校 校としての明確な答えを聞いた気がして、大変勉強になりました。私が勤務する学校でも教育課程の見直し等を行っている真っ只中であり、とても参考になりました。貴校の歴史ある教育、実践、考え方についても改めて勉強させていただく機会となり、私自身の中での「もやもや」という考えが整理されたような気がします。ありがとうございました。
- 
- 26 特別支 「深い学びを支える授業づくりの視点」の具体的な 11 の視点が分かりやすく、参考にしたいと思いま  
援学校 た。
- 
- 27 特別支 深い学びを達成するためには、合わせた指導が有効であることの説明がとても分かりやすかったです。  
援学校
- 
- 28 特別支 エピソード記録、とてもいいと思いました。ぜひ、やってみたいと思います。  
援学校
- 
- 29 特別支 これまで少し不安だった『授業での大人の目的と子どもの目的が異なっているのでは...?』という部分も、  
援学校 深い学びの視点では『その過程が大切で、子供にとっては活動が主』で良い、と確認でき、安心した。そして、一緒に行う授業者間での共有も大切。『意見の食い違い』じゃなく『そんな方面からも考えられるのか』とどちらも間違えてないことを共感できるとよいんだな、と感じた。
- 
- 30 特別支 「11の視点」が大変すばらしく、「内面を読み取る」「エピソードで記録する」「予想外の学びも見とる」な  
援学校 どの考え方に共感できました。どの授業もワクワク感や達成感の得られるものであり、参考にしたいです。
- 
- 31 福祉施 小学部、中学部、高等部それぞれの様子を知ることができ、自分の学びとなりました。特に、1人の生徒  
設 の姿を教師の視点から分かりやすく映像でまとめられていたことが印象的で、とても良いと思いました。
- 
- 32 学生 どの学部においても子どもたちの「〇〇したい」「やってみよう」という気持ちを引き出していく工夫をしてい  
たり、その様子を先生方がしっかりと捉えていると感じました。子どもたちの目線に立っているからこそ、それらの気持ちを引き出し捉えることができるのだと学ぶことができたとともに、それらの気持ちが深い学びへと繋がっているのだと感じました。
- 
- 33 就学前 今、保育所で行っている育ちを意識した活動が同じように行っており、連動していることを感じました。  
施設
-